

PLC モジュールを内蔵した電気用品の電波雑音に関する基準値の在り方の検討について

2019 年 7 月 5 日

電波雑音部会

5 月 23 日に開催された電波雑音部会において、4 月から開始された規制のサンドボックス制度を活用した認定新技術等実証計画の実施状況について、実施者のパナソニック(株)より中間報告がありました。

報告の概要は以下の通りです。

実験の進捗

実証 1：高速 PLC を搭載した電気用品試作品が、電波法施行規則第 46 条の 2 の許容値を満たせることを確認する。

全ての試作品が許容値を満足していることを確認し、完了した。

実証 2：高速 PLC 組み込みの試作品を、モデル住宅および実住宅において使用し、試作品及び他の電気製品が誤動作しないかを確認する。

実証住宅 3 軒中、1 軒での測定が完了した。

高速 PLC 装置を組み込んだ電気用品及び他の電気用品が、非動作状態においても、動作状態においても、誤動作しない（何の変化もない）ことを確認した。

今後の予定

残り 2 件の実証住宅での実証 2 の測定、及び電波雑音部会からの意見に対応するための追加実験を 6 月中に完了させる。

中間報告内容を確認し、完了した実験内容が部会で検討した方針に則ったものであること、また、以降の実証実験についても予定通り実施して支障がないことを確認しました。

本実証実験の最終報告書の提出期限が 8 / 9 であるため、それ以降に電波雑音部会を開催し、報告内容を検証します。その後、技術基準の在り方を検討し、電気用品調査委員会において報告する予定です。

以上